やまと得々ミニ情報

第 141 号　　2008 年 4 月 1 日

大和木材株式会社
〒891-1104　鹿児島市油須木町 1299-1 番地
Tel 099-245-7048　　Fax 099-245-7058
URL；http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/
E ﾒｰﾙ；yamato-kk@po.synapse.ne.jp

九州森林ﾌｫｰﾗﾑ（「木組みの家」の可能性）が開催されました　！

－風土の中で培われた匠の知恵を見直そう－と題した上記ﾌｫｰﾗﾑが、去る 3 月 1 日、九州を中心に西日本各地から多くの参加者を集め、かごしま県民交流ｾﾝﾀｰで行われました。
基調講演は東京の山辺構造設計事務所の山辺所長が「伝統型構法の現状と可能性」という題で話されました。伝統的な構造の場合、経験により軸組みが決められており、一般的に安全性の高いことが多いが、これを工学的に検証することが大切あるとし、構造の検討の仕方についてわかりやすく説明されました。特に伝統的軸組みにこだわった人たちが思い違いをしている点について説明されました。①基礎は礎石や、布基礎にしてもｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄで固定しない方が地震力を低減する……宮城県地震の際、基礎で固めた住宅は建物全体が同じ方向に揺れるが、礎石の上に立てた住宅は揺れる方向が建物の部分で違い波を打ったように揺れたと報告されている。②木造は個々の部材は弱いが総持ちなので全体としては強い……個々の強度計算は全体として考えた時あまり意味がないと言われるが小さな積み重ねで証明しなければならない。③軒の付け根はしっかり留めないほうが風圧力を逃がす……台風等で屋根が壊れても建物は大丈夫という考えだろう。小屋裏の桁行方向については意識されていない。風圧力を耐力壁に伝えることだ大事だ。④通し柱・差し鴨居・足固めは強い……断面欠損を考えたら強いとはいえない。……伝統構法は木材を有効に活用する工法であり、環境や地域材の活用の観点からも普及すべきであるとまとめられた。
熊本のすまい塾古川設計の古川所長はなぜ伝統構法の家づくりをするかということに、①人工乾燥はおかしい、→一夜干し程度の乾燥で使う方法→手刻み②シロアリ薬剤は使いたくない→基礎立ち上がり無しにしたい→柱勝工法③釘・金物接合は好ましくない→木は木で留めるのが良い→込み栓工法④ﾌﾟﾚｶｯﾄは職人減らしと技術力低下⑤建築廃材はなるべく出さない⑥石油製品はなるべく使わない⑦日本の山の木は曲がったものがある。……として、山と施主と工務店・設計事務所が連携して３方良しの取り組みをしている。また、昔の民家からは学ぶことが多いと報告された。
兵庫の米谷設計工房の米谷所長は耐震構造と環境のことを考えて木組みの家造りをしていると事例を報告された。予算に合わせﾌﾟﾚｶｯﾄも活用しているとの事だった。
地元から屋久島の「大屋根の会」の取り組みと川内市の数寄楽舎・中俣所長の事例紹介などの後、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝが行われました。構造材の人工乾燥、含水率 20%ということには疑問が投げかけられました。また、建築基準法改正の内容によっては、地域材が使いにくくなる可能性も指摘されました。

【情　報】

＊　製材業は危機的状況です

昨年前半の木材需要上昇機運から、建築基準法改正を機に一転、製材業は危機的状況にあります。
市場における 2 月の製品価格の平均は前月比－2,000 円（7%安）対前年同月比－2,900 円（10%安）でも製品が動かない厳しい状況です。昨今の円高、ｻﾌﾞﾌﾟﾗｲﾑ問題、土地価格上昇の鈍化など、今後も予断を許さない状況は続くでしょう。

＊　注入料金が変わります。

4 月から加圧注入委託加工料が 2,000 円/㎥、ﾌﾟﾚｶｯﾄの加工後注入は 4,000 円/㎥の値上げになる見込みです。（日刊木材新聞・建設新聞より）

【定休日】

４月は 5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27 日となります
５月は 3, 4, 5, 11, 18, 24, 25, 31 日となります
ご協力お願いします。

（お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで）